

<http://gijiroku.gikai-adachi.jp/voices/CGI/voiweb.exe?ACT=200&KENSAKU=1&SORT=0&KTYP=1,2,3&FBKEY1=%83f%83C%83W%81>

[

&FBCHK=AND&KGTP=1,2&TITL_SUBT=%95%BD%90%AC%82Q%82Q%94N%81@%91%E6%82Q%89%F1%81@%92%E8%97%E1%89%EF%81%7C06%8C%8E11%93%FA-01%8D%86&KGNO=60&FINO=273&HUID=12942

平成22年第2回定例会（第1日）足立区議会会議録（第8号）

6月11日（金曜日）午後1時開議

◆金沢美矢子 議員

次に、発達障がいなどで、読むことが困難な児童・生徒のためのマルチメディア・デージー教科書について伺います。

デージー教科書は、通常の教科書の内容を電子化し、パソコン上で音声や文字などを同時再生できるようにしたものです。わかりやすい例を挙げれば、カラオケを歌うとき、テレビ画面の文字の色が変わっていくようなイメージです。

発達障がいやその他の障がいのある児童・生徒のためのデージー教科書は、特別支援教育の学校現場や保護者の間で、大きな効果が得られることが認められてきました。しかし、これまでは法律の制約から、その使用は一部に限られていました。

2008年9月、教科書バリアフリー法と著作権法の改正で、これまでの制約が大幅に緩和され、本年1月1日より、発達障がいも含まれ、文科省検定教科書もデージー版教科書として活用できるようになりました。

また、国において、我が党の推進により、このたび児童・生徒本人だけでなく、指導する教員にも配布が可能になり、デージー教科書普及に弾みがつくと期待されます。

そこで伺います。

1、足立区は、既にすべての学校にパソコン対応のテレビが各フロアに1台ずつ設置されており、デージー教科書を活用できる環境が整っています。区内の特別支援学校の児童・生徒は、本年4月現在780人であります。区として積極的に取り組んでいくべきと考えますが、見解を伺います。

2、ICT教育やマルチメディア・デージーの活用を進めるためには、教職員の機器活用や新たな指導方法、研修が欠かすことができません。そうしたことを踏まえて、教員の研修についても積極的な取り組みが不可欠と思いますが、見解を伺います。

◎中村豊 教育指導室長

私からは、マルチメディア・デージー教科書についてお答えをいたします。

障がいのある児童及び生徒の学習のために、文を読み上げる速度を調整したり、任意の大きさに文字を拡大したりすることのできるマルチメディア・デージー等については、現在、国において調査研究を行っているところであります。

区教育委員会といたしましては、国や都の調査研究や動向を注視しながら、積極的に研究をしてまいります。

次に、教職員の研修に関するご質問ですが、学校には、昨年度、電子黒板等のICT関連機器を一括して導入したところですが、その活用に向けた教員研修は、6月中に4回あり、既に3回目が終了したところです。

なお、マルチメディア・デージーを活用する際には、機器の活用や指導法、データの利用方法等の研修についても適切に実施してまいります。

<http://gijiroku.gikai-adachi.jp/voices/CGI/voiweb.exe?ACT=200&KENSAKU=1&SORT=0&KTYP=1,2,3&FBKEY1=%83f%83C%83W%81>
[
&FBCHK=AND&KGTP=1,2&TITL_SUBT=%95%BD%90%AC%82Q%82Q%94N%81@%91%E6%82S%89%F1%81@%92%E8%97%E1%89%EF%81%7C12%8C%8E02%93%FA-01%8D%86&KGNO=63&FINO=284&HUID=13414

平成22年第4回定例会（第1日）足立区議会会議録（第16号）
12月2日（木曜日）午後1時開議

◆たきがみ明 議員

また、電子黒板推進のモデル校の状況を検証しつつ、今後どのように電子黒板の利用を充実させるのか伺います。

教科書のバリアフリー化として、発達障がいや視覚障がい児等に有効なマルチメディア・デージー教科書の導入は喫緊の課題と考えます。デージー教科書は、画面を利用して文字の大きさを変えられたり、文を読み上げる速度を調整できる教科書ですが、本年の第2回定例会での我が党の質問に対し、区は「国や都の調査研究や動向を注視しながら積極的に研究していく」との答弁をしております。

デージー教科書導入に向け、現状の課題と今後の取り組みについて見解を伺います。

中学校の図書館に整備されたパソコンの検索システムは、本年11月に全校完了しましたが、生徒の反響並びに利用状況はどうか。また、司書のいない中学校には司書を配置し、ICT環境の充実に努めるべきだと思いますが、見解を伺います。

◎中村豊 教育指導室長

私からは、マルチメディア・デージー教科書についてお答えをいたします。

マルチメディア・デージー教科書は、平成20年より日本障害者リハビリテーション協会が中心となって制作・提供をしております。

現段階では、通常の教科書を読むことが困難な児童・生徒のみに提供されており、教育委員会や教員への提供は難しい状況でございます。

今後も、日本障害者リハビリテーションセンターへの資料提供を求めるとともに、情報を収集してまいります。

また、視覚特別支援学校等を訪問し、マルチメディア・デージー教科書を使った授業の実践を参考にしながら、更に検討を進めてまいります。